

# 第2回ジオパーク下仁田協議会ガイド部会（報告）

日時 令和2年11月5日（木） 午後7時00分～

場所 下仁田町自然史館・ミーティングルーム

所 属	氏 名	出・欠	所 属	氏 名	出・欠
下仁田ジオパークの会	加庭 紀夫	出	下仁田ジオパークの会・荒船風穴解説員	堀口 和利	出
下仁田ジオパークの会・鉄山研究会	大河原 順次郎	出	下仁田町観光協会	津金澤 英美	出
下仁田ジオパークの会	森川 恵美子	出			
下仁田ジオパークの会	神戸 百合子	出	下仁田自然学校	中村 由克	出
下仁田ジオパークの会	高橋 敏博	欠	下仁田町自然史館	赤岡 明	出
下仁田ジオパークの会	高橋 真理子	出	下仁田町自然史館	関谷 友彦	出
下仁田ジオパークの会	黒澤 雅史	欠			

## 1 開 会

## 2 協議事項

### ① JGN 意見交換会について

下仁田ジオパークの今後について、これまでの専門部会メンバーが JGN 各地域から学んできた内容を協議会全体で共有する場として別紙1の企画案を出したところ下記の提案をいただきました。

- 目的のテーマは、(JGN との「情報共有」と専門部会員の「意識強化」) に絞ってはどうか。
- JGN 事務局の方にも来ていただくなら SDGs の取り組みも話してもらったらどうか。
- 事例紹介 (ジオの会等) の発表を聞くだけでなく、その場で専門部会 (ガイド部会、産業観光部会、教育部会、学術部会) 毎に分かれて、グループ討論をし、その意見を発表しあって共有する場を設けてはどうか。その際、部会に入っていない協議会委員もその場で割り振って討議に参加してもらおう。
- 時間は午後 2 時間 30 分～3 時間程度にしてはどうか。
- 新型コロナウイルスが感染拡大した場合は感染拡大地域の専門部会員はオンライン参加を検討する。
- 日程案は令和 3 年 2 月の 11 日 (祝・木)・13 日 (土)・14 日 (日) 頃

JGN 意見交換会は、以上の意見を踏まえた上で、11 月中に開催される部会 (ガイド部会、産業観光部会、教育部会、学術部会) でも検討し、月内に方針を固めて専門部会員、協議会委員に呼びかけをします。

## ② 下仁田ジオパーク10周年記念事業について

事務局案としては、秋の繁忙期にイベントを行うのではなく年間を通じた行事（フォトコンテスト、町民向けグループワーク、まちなかジオツアーなど）を10周年として位置付けるということではどうかという案を出したところ、下記の提案をいただきました。

- 記念事業は、町民の皆さんに10周年をきっかけにジオパークをPRするチャンス。これまでの層とは異なった人向けにみんなが楽しめる行事を企画してはどうか。（例えば、こんにゃく手作り体験道場などを借り切ってお祭りのようなイベントを企画する、参加者にノベルティを配布するなど）  
→お祭りでのブースは各専門部会が1部会1ブース出すようにしては？（学術はパネル、教育は子供向けの実験、産業観光はブランド商品を使った商品販売など）
- 令和3年9月5日（日）に下仁田ジオパーク10周年記念事業を開催してはどうか。
- 専門部会によって、温度差が異なるので、ガイド部会が先行してやってはどうか。  
→ガイド部会だけが動くと、温度差が広まる一方なので、ガイド部会が中心を担う10周年記念事業実行委員会という形をとって、他の部会も呼びかける形をとってはどうか。
- バイブレーションテーブルなど他の団体を巻き込んで集客を増やす工夫をしてはどうか。  
以上の意見を踏まえた上で、他の部会（ガイド部会、産業観光部会、教育部会、学術部会）と協議しながら、令和3年2月頃に実行委員会を立ち上げる方向で検討することにします。
- 10周年記念事業の予算は、記念品、パンフレットを予算計上するのはどうか。

## ③ 馬山ガイドブックについて

現在計画中で、中村館長と大河原順次郎さんと一緒に相談しながら原案を作って次回ガイド部会で協議してもらいたい。

## その他

浅間北麓ジオパークの意見交換会は、12月19日（土）又は20日（日）に開催する。

## 3 次回の部会開催について

2月のJGN意見交換会がある為、1月下旬に開催する。